

2019.7.4 佐藤たまき先生「古生物学・恐竜」講演会

生徒20名（希望者）+教員多数参加

期末考査最終日、東京学芸大学の佐藤たまき准教授による講演会がありました。

首長竜「フタバススキリュウ」の化石を調べて2006年に新属新種と解明された実績をもたれる、日本を代表する古生物学者のお話を直接伺えるとあって、生徒も普段より興奮気味でした。

A 古生物学や佐藤先生の生い立ちに関するお話。
「恐竜」と「首長竜」って同じじゃないんだね。



B 全体での質問タイム。
憧れの科学者を前に、みんな緊張気味。



C 講演会終了後、中々帰ろうとしない生徒たち。
個別にたくさん質問していました。
皆古生物が一層好きになったようだね。



D 参加者全員で集合写真。
佐藤先生、貴重な機会ありがとうございました。



「古生物学の道に進みたい!」「今はちょっと少ない女性科学者になりたい!」など、
色々な夢が生まれた時間になりました。

参加生徒の感想

2年男子

講演会では、首長竜や恐竜の進化のことについて自分の知らない領域のことを理解することができ、とてもよかった。特に恐竜の頭に大きな穴が軽量化のために空いていることに非常に驚いた。ただ、実際にはその下に脳を包む組織があり飛び出さないそう。恐竜がなぜあのように巨大化できたのかわかった気がした。

佐藤先生はご自身のキャリアのことについても説明してくださり、自分の進路選択の参考にすることができた。佐藤先生はもともと文系だったが、大学で恐竜のことについて研究するために物理や数学を死に物狂いで勉強されたそう。自分も文系だが、理系の分野に少し興味があるので諦めずに努力していこうと感じた。

1年男子

今回の講演会では、恐竜や首長竜についてのお話を聞かせていただいた。自分は『恐竜』とは何か知っているつもりだったが、佐藤先生のお話を聞いてプテラノドンやフタバサウルス、イクチオサウルス、モササウルスなどは恐竜ではないことを知り驚いた。佐藤先生は恐竜とは鳥盤類と竜盤類の祖先と子孫だとおっしゃった。また、現代の我々にとって身近な鳥類も鳥盤類と竜盤類の祖先と子孫にあてはまるので恐竜はまだ絶滅していないという考え方もあるそう。そう考えると自分が中生代にタイムスリップしたようで不思議な感じがした。

自分は文系に進むか理系に進むか決めていないが今回の講演会を経て少し理系に進みたくなった。そのためには自分の苦手な数学が必要になるのでもっと勉強を頑張ろうと思った。